

スコアシート		実施設計段階				全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.7
Q1 室内環境			0.40		-	2.7
1 音環境		2.0	0.15	3.3	1.00	2.9
1.1 室内騒音レベル	—	3.0	0.49	3.0	0.50	
1.2 遮音	開口部遮音性能は、T-2以上	1.1	0.49	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能	—	1.0	0.93	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能	—	3.0	0.03	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	—	3.0	0.02	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	—	3.0	0.02	3.0	0.20	
1.3 吸音	—	1.0	0.02	-	-	
2 温熱環境		2.2	0.35	2.7	1.00	2.6
2.1 室温制御	—	2.2	0.50	3.7	0.50	
1 室温	—	3.0	0.62	3.0	0.63	
2 外皮性能	レベル4を超える水準の断熱性能を満たす。	1.0	0.38	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性	—	-	-	-	-	
2.2 湿度制御	—	1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式	—	3.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境		2.0	0.25	2.7	1.00	2.4
3.1 昼光利用	—	1.8	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率	—	1.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口	—	-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備	—	3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策	—	1.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御	—	1.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度	—	3.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御	—	3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		2.9	0.25	3.0	1.00	2.9
4.1 発生源対策	—	3.0	0.59	3.0	0.63	
1 化学汚染物質	—	3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気	—	3.0	0.39	3.0	0.38	
1 換気量	—	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	—	-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	—	3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理	—	1.0	0.02	-	-	
1 CO ₂ の監視	—	1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	—	1.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.7
1 機能性		3.0	0.40	2.6	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ	—	3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性	—	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	—	-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画	—	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性	—	3.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観	—	-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース	—	-	-	-	-	
3 内装計画	—	3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理	—	3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	—	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	—	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振	—	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	—	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	—	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	劣化対策等級3相当である。	3.0	0.30	-	-	
1 車体材料の耐用年数	—	5.0	0.33	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	—	1.0	0.33	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	—	3.0	0.17	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	—	3.0	0.17	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	—	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	—	-	-	-	-	
2.4 信頼性	—	2.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	—	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	—	2.0	0.20	-	-	
3 電気設備	—	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	—	1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	—	1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		2.9	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり		1.0	0.03	3.2	0.50	
1 階高のゆとり	住戸階の階高は、2.9m以上3.0m未満である。	1.0	1.00	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ	-	-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.03	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	0.94	-	-	
1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	-	0.30	-	-	2.8	
1 生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮	-	2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	保育所BPI _m =0.49、住戸は設計UA値≤基準UA値×0.85	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	全住戸が外皮に2面以上面している。	3.1	0.10	-	-	3.1
3 設備システムの高効率化	BEI=0.83、LED照明設備を採用。	4.8	0.50	-	-	4.8
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水	-	3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げ材が容易に、分別可能となっている。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		2.0	0.70	-	-	
1 消火剤	-	1.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.33	-	-	
3 冷媒	-	2.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮	LCCO ₂ 排出率=77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2 污水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.1	0.33	-	-	2.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		2.3	0.40	-	-	
1 騒音	-	3.0	0.33	-	-	
2 振動	-	3.0	0.33	-	-	
3 悪臭	-	1.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		1.6	0.40	-	-	
1 風害の抑制	-	1.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制	-	1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	1.0	○	○			-		-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0			○			○	○	○	○		-	○	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	-		-	-	-	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		-	-	2.0	-	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		-	1.0	-	1.0	-	1.0							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0		-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0		1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	1.0		-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雜排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 軀体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-							
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-		-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	1.0		-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	-		1.0	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

主な指標**Q1 室内環境**

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m ² K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値 0.5	η AC 1.0

3.1.1 昼光率

自然換気有効開口面積率	-
-------------	---

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	-	/人	病床	-	/床	シングル	-	ツイン	-
コンセント容量	-	VA/m ²							
天井高	-	m							
リフレッシュスペース	-		レストスペース	-					
想定耐用年数	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
想定必要間隔	-	年							
階高	2.91~2.1m								
壁長さ比率	-								
床荷重	-	N/m ²							

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 軀体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 軀体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

外構緑化指数	-	建物緑化指数	#####
空地率	-	水平投影面積率 #####	地表面対策面積率 #VALUE!

舗装面積率 0%

BPI/BPIm	0.49	断熱等性能等級	等級4を超える 相当
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年 m ²	採光を満たす教室数	-
		通風を満たす教室数	通風を満たす住戸数 100.0%

BPI/BPIm	非住宅	0.71	住宅	-	太陽光	-	太陽熱等	-	蓄電池
----------	-----	------	----	---	-----	---	------	---	-----

雨水利用率	-
特定調達品目	-
エコマーク商品	-
自治体指定の特定品目等	-
使用比率	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-
地球温暖化係数(GWP)	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-
地球温暖化係数(GWP)	-
オゾン層破壊係数(ODP)	-
地球温暖化係数(GWP)	-

見付面積比
